

農業再生と地域活性化

～農・食・環境・暮らしのつながりを取り戻す～

講師等のリスト（10月3日現在）

※変更になる場合があります。

月日	内容		
第1回 10月15日	<p>テーマ：オリエンテーション</p> <p>内容：「農業再生と地域活性化」について、講義全体のねらいを谷口教授が講義したあと、国の政策と全国の先進事例を内閣府の山田氏が報告する。そのあと、受講生がグループに分かれてディスカッションする。</p>		
	講義	「農業再生と地域活性化をどう結びつけるか」 谷口吉光氏（秋田県立大学地域連携・研究推進センター教授）	○
	講義	「農業再生に関連した地域活性化の動向と施策」 山田総一郎氏（内閣官房地域活性化統合事務局参事官）	○
		グループディスカッション	
第2回 10月22日	<p>テーマ：耕すことが当たり前の社会へ</p> <p>内容：農業就業人口が極端に少なくなった現状を反省し、みんなが土に親しみ、就農者を増やすにはどうしたらいいのかを考える。「農へのまなざし」の重要性を訴えてこられた宇根氏が講義したあと、非農家の農業研修を通じて若者の就農を増やそうというプロジェクトを進めている福本氏と合田氏がディスカッションする。</p>		
	講義	「耕すことが当たり前の社会へ」 宇根 豊氏（前農と自然の研究所代表・福岡県）	○
	ディスカッション	福本由紀子氏（株式会社 NOPPO 取締役）	○
		合田正樹氏（合田農場・大潟村） ほか1名予定	○
第3回 10月29日	<p>テーマ：経済のグローバル化とローカル化</p> <p>内容：TPPに見られるような経済のグローバル化の動きと、地産地消のようなローカル化の動きがせめぎ合っている。長濱・谷口両教授の講義のあと、県内で農産物のインショップを拡げている佐々木氏ほか1名の現場報告を受けて、グループディスカッションを行う。</p>		
	講義	「経済のグローバル化はどう進むか」 長濱健一郎氏（秋田県立大学生物資源科学部教授）	○
	講義	「地産地消の最近の動向」 谷口吉光氏（秋田県立大学地域連携・研究推進センター教授）	○
	現場報告	交渉中 2名予定	
		グループディスカッション	

第4回 11月12日	<p>テーマ：農村と都市住民とつなぐ 内容：グリーンツーリズムの第1人者・青木教授に都市農村交流の現状について講義をしてもらい、県内での現場報告を受けて、グループディスカッションを行う。</p>		
	講義	「転換する都市・農村交流：非日常性への新たな対応の意義と課題」 青木辰司氏（東洋大学社会学部長・教授）	○
	現場報告	交渉中 2名予定	
		グループディスカッション	
第5回 11月26日	<p>テーマ：コミュニティビジネスと農業再生 内容：現在広がりを見せているコミュニティビジネスが農業再生にどうつながるのかを荒樋教授に講義をしてもらい、県内での現場報告を受けて、グループディスカッションを行う。</p>		
	講義	「コミュニティビジネスと農業再生」 荒樋 豊氏（秋田県立大学生物資源科学部教授）	○
	現地報告	交渉中 2～3名予定	
		グループディスカッション	
第6回 12月3日	<p>テーマ：3.11 以後の農業と地域を考える 内容：3.11 を受けて東北の農業と地域をどうしたらいいのか。中島教授の講義と、県外の現場報告を受けて、グループディスカッションを行う。</p>		
	講義	「新しい農本の地平へ」 中島紀一氏（茨城大学農学部教授）	○
	現場報告	交渉中 2名予定	
		グループディスカッション	
第7回 12月17日	<p>テーマ：生きものに配慮した農業をめざして 内容：農業生産と生物多様性の保全を両立させようとする動きを紹介する。谷口教授の講義と、農水省の木内氏の講義のあと、地域で生きもの保全に関わる報告を聞き、グループディスカッションを行う。</p>		
	講義	「生きものに配慮した農業をめざして」 谷口吉光氏（秋田県立大学地域連携・研究推進センター教授）	○
	講義	「生物多様性に配慮した農業の動向と政策」 木内岳志氏（農林水産省内閣官房参事官）	○
	現場報告	交渉中 2名予定	
	グループディスカッション		